

少数台数のリコール届出の公表について（平成26年2月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成26年2月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：キャタピラージャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月13日	3297	車名：キャタピラー 型式：KDP-SAT 通称名：910H	56	平成25年 7月11日～ 平成25年 8月20日
不具合の部位等	ショベルローダの製作工程における作業が不適切であったため、リヤアクスルのトラニオン固定プレートを取り付けるボルトにワッシャが組み付けられていないものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、ボルトのトルクが緩み、ボルトの折損や脱落が発生し、トラニオンがフレームから脱落するおそれが生じる。			

2. 届出者：日通商事株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月14日	3306	車名：日通 型式：NT25H029 他 通称名：-	13	平成20年 9月30日～ 平成25年 9月28日
不具合の部位等	制動装置の構成部品であるブレーキプレートにおいて、ブレーキシューとブレーキプレートの干渉を避ける為に設けたブレーキプレートの溝が不適切であったため、制動時の引張と圧縮の力が集中する事により、溝部に亀裂が発生する場合があります、最悪の場合、ブレーキの利きが悪くなるおそれがある。			

3. 届出者：日本トレクス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月14日	3307	車名：トレクス 型式：PMS241AE 他 通称名：-	8	平成21年 5月26日～ 平成25年 3月26日
不具合の部位等	制動装置の構成部品であるブレーキプレートにおいて、ブレーキシューとブレーキプレートの干渉を避ける為に設けたブレーキプレートの溝が不適切であったため、制動時の引張と圧縮の力が集中する事により、溝部に亀裂が発生する場合があります、最悪の場合、ブレーキの利きが悪くなるおそれがある。			

4. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月18日	3309	車名：三菱 型式：BJG-MP37TM 他 通称名：ふそうエアロスター	36	平成20年 1月 7日～ 平成22年 7月 7日
不具合の部位等	大型路線バスのハイブリッド車において、電流の変換装置であるインバータの耐久信頼性が不足しているものがある。そのため、インバータ破損により車両駆動用モータや補機用モータが作動せず、ハイブリッドシステム警告灯の点灯、出力低下が発生し、最悪の場合、走行不能、パワーステアリング機能不良となるおそれがある。			

5. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月20日	3311	車名：日野 型式：SDG-RR7JJCA 他 通称名：日野メルファ	28	平成23年10月31日～ 平成24年11月15日
不具合の部位等	採血車のオルタネータ用ハーネスの配索が不適切なため、走行等の振動により、当該ハーネスが排気ガス再循環（EGR）クーラと接触することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ハーネスがショートし、最悪の場合、発火するおそれがある。			

6. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月25日	3321	車名：ニッサン 型式：CBF-FPWGE50 通称名：パラメディック	98	平成25年 7月15日～ 平成26年 1月18日
不具合の部位等	救急車の自動変速機において、オイルクーラホースの締結力が不足しているものがあるため、当該ホースが外れてオイルが漏れ、走行できなくなるおそれがある。			

7. 届出者：コベルコクレーン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月28日	3314	車名：コベルコ 型式：UDS-EE04 通称名：RK250-8	29	平成25年 6月 5日～ 平成26年 1月27日
不具合の部位等	動力伝達装置の油圧配管（走行用）において、油圧配管の形状及び配策が不適切なため、油圧脈動による応力を繰り返し受けることで当該配管に亀裂を生じ、当該亀裂部から作動油が漏れる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、亀裂が進行することで油圧配管が折損し、作動油による動力の伝達が出来なくなることで走行不能となるおそれがある。			

8. 届出者：ピアッジオグループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月28日	外2011	車 名：ベスパ 型 式：M74 通称名：PX125 他	86	平成24年 4月10日～ 平成25年 7月 9日
不具合の部位等	後席同乗者の姿勢確保の為にシートストラップ（握り手）のバックルにおいて、サドルへ固定するためのリベット穴の加工が不適切なため、シートストラップを繰り返し使用すると、リベット等とともにシートストラップが外れるおそれがある。			

【参考】

●平成26年2月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	19件（-7）	12件（+3）	7件（-10）
輸入車	5件（-1）	4件（±0）	1件（-1）
計	24件（-8）	16件（+3）	8件（-11）

※（ ）内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数（平成25年度）

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	18(+4)	7(-8)	25(-4)	1,023,922(+941,706)	7,500(-47,380)	1,031,422(+894,326)
5	8(-7)	13(+4)	21(-3)	270,667(-62,692)	118,690(+102,403)	389,357(+39,711)
6	23(+8)	9(+2)	32(+10)	705,638(+437,617)	4,332(+3,282)	709,970(+440,899)
7	16(-29)	10(+3)	26(-26)	1,088,311(+682,336)	14,657(+14,524)	1,102,968(+696,860)
8	13(-1)	4(0)	17(-1)	5,337(-32,629)	910(-468)	6,247(-33,097)
9	22(+13)	10(+4)	32(+17)	1,920,523(+1,898,584)	2,535(+1,377)	1,923,058(+1,899,961)
10	20(-1)	9(+4)	29(+3)	300,223(-264,791)	6,602(-999)	306,825(-265,790)
11	14(-1)	12(+6)	26(+5)	230,307(-1,499,605)	36,461(+31,016)	266,768(-1,468,589)
12	18(+7)	12(+6)	30(+13)	807,095(-944,909)	8,551(+4,494)	815,646(-940,415)
1	11(0)	7(-4)	18(-4)	37,025(+3,521)	37,505(+30,511)	74,530(+34,032)
2	19(-7)	5(-1)	24(-8)	1,179,328(+1,169,681)	17,863(+16,990)	1,197,191(+1,186,671)
小計	182(-14)	98(+16)	280(+2)	7,568,376(+2,328,819)	255,606(+155,750)	7,823,982(+2,484,569)

※（ ）内は、対前年比